

会議録

会議の名称	令和3年度第1回加東市総合戦略策定推進会議
開催日時	令和3年10月8日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	発達サポートセンター「はびあ」2階 多目的室
議長の氏名 (座長 庭瀬 敬右)	
出席及び欠席委員の氏名	
〈出席委員〉	
・松井 敏 ・梶本 隆介 ・菅原 和久 ・瀧川 智秀 ・中西 光範	
・中野 剛志 ・西村 直香 ・松本 久美子 ・ライアン 慶子	
〈欠席委員〉	
・梶本 望 ・多田 実乗 ・森田 啓之	
説明のため出席した者の職氏名	
・市民協働部長 土肥 彰浩 ・健康福祉部長 大西 祥隆	
・健康福祉部参事兼健康課長 細川 公代 ・産業振興部長 小坂 征幸	
・都市整備部長 大畑 敏之 ・教育振興部長 田中 孝明	
・こども未来部長 広西 英二 ・こども未来部参事 後藤 浩美	
・市民協働部保険医療課長 片嶋 美紀 ・市民協働部人権協働課長 西山 太	
・健康福祉部福祉総務課長 近澤 孝則 ・健康福祉部社会福祉課長 北島 崇裕	
・産業振興部農政課長 神戸 剛 ・産業振興部商工観光課長 原田 幸広	
・都市整備部都市政策課長 長谷川 茂 ・都市整備部土木課長 安則 宏幸	
・教育振興部教育総務課長 菅野 勇一 ・教育振興部生涯学習課長 長田 徹	
・こども未来部学校教育課長 井上 聡 ・こども未来部こども教育課長 井澤 彰子	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
・まちづくり政策部長 小林 勝成	
・まちづくり政策部まちづくり創造課長 山本 幸平	
・まちづくり政策部まちづくり創造課副課長 小林 寿泰	
・まちづくり政策部まちづくり創造課主査 藤原 恵	
〈議題〉	
・第2次加東市総合戦略の総括について	
〈会議資料〉	
第2次加東市総合戦略	
加東市人口ビジョン	
令和3年度第1回加東市総合戦略策定推進会議次第	
加東市総合戦略策定推進会議設置要綱	
【資料1】総合戦略について	
【資料2】総合戦略における評価の考え方	
【資料3】平成30年度から令和2年度までの評価結果一覧	
【資料4】第2次加東市総合戦略総括シート	
【資料5】総括シートの見方	
〈会議の経過〉	
別紙「令和3年度第1回加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過のとおり	

令和3年12月2日

座長 庭瀬敬右
署名人 松井 毅

(別紙)「令和3年度第1回加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
	1 開会 2 座長挨拶 3 職務代理者の選出 松井敏委員を職務代理者に選任 4 協議 第2次加東市総合戦略の総括について ○基本目標① 力強い産業としごとづくりについて事務局より説明 ■施策1 地域産業力の向上に向けた企業支援
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致が具体的に進んでいるところはあるのか。また、今後どのように進めていくのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・社工業団地の中に1か所、ひょうご東条ニュータウンインターパークの中に2か所の未操業地がある。操業の問い合わせがあれば、地主や事業所との調整に入り、開業に向けての支援を継続して行っているが、金額面などで操業まで至らないケースが多い。事業者、地主への支援は今後も継続して行う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地奨励金とは何か。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に工場などを新設又は増設した企業のうち、新設又は増設に係る投下固定資産税額が2億円以上である場合、5年間の固定資産税及び都市計画税分を一旦税金として納付いただくが、翌年度に奨励金として交付する事業である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3か所の未操業地については、奨励金などの継続支援があっても操業に至らないということか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・未操業地で操業に至らない原因は何か。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・企業は事業所の場所や工業団地の場所、物流ポイント、値段などで判断されており、支援制度とは別のところが原因で操業に至らなかったケースが多い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の操業支援とあわせて、生活インフラの整備の検討はしているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・企業にとって雇用の確保も操業に向けた判断材料の一つであると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3ページの通番1企業誘致等推進事業、通番4新たな工業団地用地の創出事業の評価がB(概ね成果があった)の理由は何か。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・通番4新たな工業団地用地の創出事業について、工業団地はまだ形にな

課長	<p>っていないが、農振除外の規制緩和について、県との国への共同提案により、国から知事同意に関する考え方が示されるなど、一定の成果があったと判断し、Bとした。</p> <p>・通番1企業誘致等推進事業について、結果として操業に至らなかったが、関係機関との連携を強化し、今後に向けて有効な活動ができたため、Bとした。</p>
委員	<p>・総合評価でBとするのは良いと思うが、アクションプランの目的を達成できていないのであれば、Cとすべきだと思う。</p>
座長	<p>・当会議では、総合評価を行っていくこととしているため、アクションプランの評価の修正はしないこととする。</p>
座長	<p>・水道料金の助成制度があるが、事業所の操業継続や企業誘致につながっているのか。</p>
課長	<p>・近隣市町で同様の支援を行っていないところもあるため、企業誘致において魅力になっていると考えている。</p>
座長	<p>・一次評価はBであるがBでよいか。</p>
	<p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p>
座長	<p>・二次評価もBとする。</p>
	<p>■施策2 安定した雇用の創出</p>
委員	<p>・就労に関する相談は、不景気になると増えると考えられるが、相談件数をKPIに上げている理由は何か。</p>
課長	<p>・就労支援室は商工会に運営を委託している。これから仕事を探される方は西脇市にあるハローワークに行かれることが多いが、この就労支援室では、福祉課題をお持ちの方や、定年を迎えられた方が多く相談に来られ、ハローワークでは相談しづらい方の相談件数を実績としてあげている。</p>
部長	<p>・KPIを設定した時は就労支援室を立ち上げた時であり、その周知の成果をどう図っていくかという趣旨で設定した。このKPIをどうするかは次期計画で検討する。</p>
委員	<p>・新規雇用者数をKPIに設定した方が分かりやすいのではないか。</p>
課長	<p>・実際に雇用されたかどうかは企業からの連絡がないと把握できない。</p>
委員	<p>・企業誘致件数に対する新規雇用者数であれば把握できると思う。</p>
課長	<p>・次期計画で検討する。</p>
座長	<p>・しごと創出作戦の次期総合戦略方向性で支援体制について改善を行うとあるが、具体的にどう改善するのか。</p>
課長	<p>・これまでは求人に対する取組を推進してきたが、今後は障がい者や定年後の方の採用に対する事業所の理解を深めていきたい。</p>

座長	・若い世代の加東市への就職の現状はどうか。地元で就職したいという希望と、企業の求人のニーズは合致しているのか。また、相談会等から就労に至った実績は把握しているのか。
課長	・相談会等から就職に至った件数は今お示しできないが、加東市は近隣の市町が実施している就職面接会、相談会より参加人数が多いため、企業と接する機会は多いと捉えている。
委員	・創業者件数は会社の創業件数ということか。
課長	・そうである。
委員	・指標としてはどれくらい雇用があったかが必要であると考える。
	・創業者件数の目標が年間 15 件に設定しており、令和元年度約 10 件、令和 2 年度約 5 件となった理由がニーズに合致していないからだと記載してあるが、今後補助金の創設を検討していく予定はあるのか。
課長	・現在の創業支援補助金は活用しづらいという意見があるため、別の制度の創設について検討中である。
座長	・新たな特産品として加東市産もち麦を推進しているが、市外への PR は積極的に行っているのか。
課長	・市民向けの PR は広報紙、ケーブルテレビ、学校給食など様々な手法で行っている。市外向けについては、新聞発表や株式会社マルヤナギからの製品販売を行っている。市のまちづくりの一環としてもち麦振興を行っているため、市民向けの PR を積極的に行っている。
座長	・一次評価は B であるが B でよいか。
	〔異議なし〕
座長	・二次評価も B とする。
	○基本目標② 誇れる選ばれる加東ブランドづくりについて事務局より説明
	■施策 1 まちの拠点とにぎわい創出
座長	・加東アート館の活用について、次期総合戦略では交流人口拡大に向けてどのように取り組むのか。
課長	・特に京阪神間からの往来を促し、AR で市内を周遊していただく取組を進めている。自動車、バイク、レンタサイクル、フットパス等を活用し、市内を周遊いただき、また、地元の店舗に寄っていただくことで、地域のにぎわいを創出していきたい。
座長	・観光振興事務事業（外国人旅行者交通費助成）について、県が廃止すれば市も廃止するとあるが、県が廃止し加東市だけが継続する場合、外国人の呼び込みにつながると思うが、市独自事業としての継続は検討していな

	<p>いのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市独自事業としての継続については内部でも協議を行う。 ・着地型観光の開発及び近隣市町との連携により広域観光ルートを形成するとあるが、現時点でどのようなことを検討しているのか。
課長 委員	
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・着地型観光とは、施設を巡るだけでなく、そこで体験していただくというイメージである。2年程前から、東条湖でカヌー体験やワカサギ釣り体験を行い、長い時間加東市に滞在していただく取組を進めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東条湖周辺であれば東条湖おもちゃ王国やゴルフ場など集客のある施設をアピールするとさらに集客を促すことができると思う。また、近隣施設や季節の情報などを発信することもできると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人へのPRについて言語などの工夫はしているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語表記のパンフレットを市内ゴルフ場や旅行会社に配布している。また、理解しやすいようにYouTube動画を配信している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者以外に、技能実習生や留学生を増やすことも趣旨の一つではないかと思うが、いま日本にいる方々のネットワークを活用し、母国とのつながりを持つことはできないのか。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・在留外国人に対しては、加東市国際交流協会と共同での日本語教室の開催や、市窓口外国人相談員を2名配置することで、外国人にも住みやすいまちをイメージできるよう取り組んでいる。自治会へのポケットークの貸し出しや、外国語に翻訳した回覧板の回付の支援も行っている。その外国人のネットワークを活用して別の方を呼び込む流れの創出について努力している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の方に向けた取組については、戦略を十分に考えて行うことで大きなPRになると考える。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。
委員	<p>■施策2 定住・移住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIは達成しているが、総合的には駄目という結果になっている。取組は行っているが数値には表れておらず、同じことを次期総合戦略で行っても同じ結果になると予想されるがどう取り組む予定か。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の取組に対しては目標を達成しているが、移住に関しては相談はあるものの移住には結びついていない現実があるため総合評価はBとした。次期総合戦略においては、その移住の取組をどう進めていくかがポイントになってくると考えている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの延長線上ではなく、異なる視点で新たなことに取り組む必要があると考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市は外国人の割合が約5%と県内で一番高い。モデル事業の実施や外国人との共生についてどう考えているか。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度県のモデル事業に採択され、通訳派遣やポケットークの導入を行った。また、外国人の方に参加いただくワークショップにより日本語を覚えて頂く機会を設けた。今後も支援や指導を受けながら外国人との共生に力を入れて取り組んでいきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・空家の利用件数が8件とあるが、どのような使われ方をされているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・空家を購入後、リフォームして住まれている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の伸び率が全国で上位であったと思うが何番目か。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に伸び率が何位という資料は持ち合わせていないが、令和2年度に県下で総額が6位という結果になった。ふるさと納税は加東市のPRに大きく寄与しており、今後も返礼品の充実などを続けていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品に着地型観光を取り入れてはどうか。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の趣旨も考えながら検討していく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の方で加東アート館を知らない方が多いため、PR手法を検討する必要があると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・もとの施設が市役所であったこともあり、車椅子やベビーカーが使えるいたため、利用する方に合ったものにしていく必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済を導入することで若い世代の方が利用しやすくなるのではないか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・加東アート館の指定管理者と協議する。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。
	<p>○基本目標③ 加東の未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくりについて事務局より説明</p> <p>■施策1 結婚に向けた出会いの機会創出</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・未婚化対策としての出会いの場を提供する婚活セミナーや婚活イベントについて、コロナ禍でどのような実態になっているのか。
副課長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で中止にするのではなくどうすれば実施できるかを考え、少人数での開催となったが、オンライン婚活を実施した。今後も工夫しながら続けていく。

座長	・カップル成立率については参加人数が少ないと少なくなると思われるが、イベントはうまくいっているのか。
副課長	・カップル成立率のため、必ずしもカップル成立組数とは一致しない。令和2年度は10組中3組(30%)カップル成立、令和3年度は5組中4組(80%)カップル成立という結果になった。 ・今後も様々な手法を駆使しながら成立率や成立組数の上昇に向けて取り組む。
委員 部長	・出会いの機会創出の婚活セミナーの募集対象は市内の方のみか。 ・まちの拠点づくりコンソーシアムが主催しているが、市の人口減少に歯止めをかけることが目的であるため、男性については市内の方を優先している。女性については制限がないため、過去には大阪から来られたケースもあり、募集時に市内の工業団地にチラシ設置依頼を行ったこともある。
座長	・一次評価はBであるがBでよいか。 [異議なし]
座長	・二次評価もBとする。
	■施策2 妊娠・出産・子育て支援
委員	・出生率が1.68と県下でも高いが、その理由で分かるものがあれば教えてほしい。
参事	・出生数について明らかな減少はないと考えている。外国人妊婦等が増えており、また、今年度開始した子育て見守り支援事業など子育てに関する新規の支援や事業を増やして、手厚く支援を行っている。
部長	・教育面に力を入れてきた中で、兵庫教育大学附属幼稚園をブランドとして捉えられていることなどが他市よりも高い要因でないかと分析している。
委員	・KPIの児童・生徒の朝食摂取率はどのように算出するのか。また、食べていない子どもはなぜ食べないのか。
参事	・朝食摂取率は小・中学校の全児童・生徒にアンケートを行い算出したものである。 ・朝食を摂取しない理由として、中学生は起きるのが遅い、食べる気がしないなどであり、小学校低学年は家庭的な理由があるかもしれない。低学年の方が摂取率は高い。
委員	・今日朝食を食べてきたかという聞き方をするのか、それともずっと食べていないのかという聞き方をするのかどちらなのか。
参事	・朝食を毎日食べていますか、という質問をしている。週1日～3日食べる、週4日から6日食べる、食べない、毎日食べるの中から回答する。

委員	・次期総合戦略で待機児童ゼロに向けて取り組むとあるが、今の状況はどうか。
課長	・利用を希望されている方が全員入所できるように、私立保育所等の施設整備による保育の受け皿の拡大や保育士等の確保に取り組んでいるが、保育の無償化等の理由により近年申込が増加しており、希望に添えていないのが現状である。次期総合戦略では、待機児童ゼロに向けて保育士の確保を重点的に実施していきたい。
委員	・加東みらいこども園の建設により、園が大きくなれば低年齢の子どもも入所できると思っていたが、入所できないのはなぜか。
部長	・施設としては大きいですが、保育の無償化により0歳児から2歳児の保育の希望が増え、3人の子どもに対し1人の保育士が必要となることから、保育士の確保が難しく、希望に応えられていない。
課長	・加東みらいこども園については、今後米田こども園と鴨川保育園と統合する予定である。 ・加東市立の園だけでなく私立保育園等全体で市の保育の受け皿を確保できる体制を取っていきたい。
座長	・乳幼児の医療費給付事業で次期総合戦略が拡充となっているが、どのように拡充する予定なのか。また、市として何を指して子育て支援を行うのか。
課長	・検討中のために、具体的なことは申し上げられないが、加東市の子育て世代の方が安心して子どもを産み育てられるような環境になるよう、現状制度の見直しを検討していきたい。
座長	・食育推進事業で健康調査の結果を踏まえた新たな食育推進事業に取り組むとして方向性が拡充となっているが、どのような拡充を検討しているのか。
参事	・令和2年度に加東市産もち麦を使った健康調査を実施しており、その結果を踏まえて市民に和食の推進や加東市産もち麦を使用した食育について拡充していきたいと考えているところであり、コロナ禍においてどのように実施するかを検討していく。
委員	・乳幼児等医療費給付事業の88.1%、こども医療費給付事業の83.5%という数字は、本来補助を受けられる人を100としたときの申請割合と考えてよいか。
課長	・この数値は予算に対する決算額の執行率であり、申請割合ではない。
座長	・一次評価はBであるがBでよいか。 [異議なし]
座長	・二次評価もBとする。

5 その他

○次回会議について事務局から説明

日時：令和3年10月22日（金）13時30分～

場所：発達サポートセンター「はぴあ」2階多目的室

閉会